

2023年9月29日

各位

会社名 ワンダープラネット株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 常川 友樹  
 (コード番号: 4199 東証グロース)  
 問合わせ先 取締役 CFO 佐藤 彰紀  
 TEL. 052-265-8792

**2023年8月期業績予想及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ**

当社は、2022年10月12日に公表しました「2022年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、非開示としておりました2023年8月期(2022年9月1日~2023年8月31日)の業績予想の公表を行うとともに、2023年8月期(2022年9月1日~2023年8月31日)において繰延税金資産の取り崩しを行いましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年8月期業績予想数値(2022年9月1日~2023年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	3,464	49	28	△214	△89.33
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2022年8月期)	3,422	△1,272	△1,291	△1,887	△876.24

2. 業績予想数値の理由

2023年8月期の業績予想につきましては、世界のモバイル向けゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、既存運営タイトルの業績動向を精緻に予測することがより困難であること等から非開示としておりましたが、現時点で入手可能な情報等に基づき算定しましたので、開示いたします。

売上高については、「クラッシュフィーバー」は前期(2022年8月期)と比較して増収と好調に推移し、「ジャンプチ ヒーローズ」は堅調に推移し、また第3四半期会計期間においてコンシューマー系ゲーム開発会社との共同事業による新規タイトル開発に関する契約変更を実施したことに伴い開発費用の当社負担が減少し、売上高が増加したこと、同じく契約変更に伴い開発開始から第2四半期累計期間までの開発費用精算を実施したことによる売上高の増加もあったことで、前期(2022年8月期)と比較して増収となりました。

営業利益、経常利益については、中長期的な収益の拡大に向け、コンシューマー系ゲーム開発会社との共同事業による新規タイトルの開発にも前事業年度に引き続き取り組んでいる一方で、前期期初より継続して取り組んでいる既存タイトルの運営体制の見直し、最適化による外注費などの運営費削減の効果や全社的な費用削減効果により、前期(2022年8月期)と比較して費用が減少し、また上記コンシューマー系ゲーム開発会社との共同事業による新規タイトル開発に関する契約変更に伴う過去開発費用の精算を実施したことにより黒字となりました。

当期純利益については、前期（2022年8月期）と比較して大幅に当期純損失を縮小しておりますが、後述「3. 繰延税金資産の取り崩しについて」のとおり、繰延税金資産を一部取り崩し法人税等調整額に237百万円計上いたしました結果、214百万円の当期純損失となりました。

### 3. 繰延税金資産の取り崩しについて

当期及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩すこととし、法人税等調整額237百万円を計上いたしました。

※上記の業績予想予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上